

みんなの呼吸器 Respica 別冊『呼吸療法認定士 要点整理&まるおぼえノート』

正誤表

本文記載内容に下記のとおり誤りがございました。関係者の皆様、読者の皆様にお詫びし、訂正いたします。

◆p.67 第3部 7. BE（塩基過剰）とAG（アニオンギャップ）

- 【誤】
- ・ BE > +2 →代謝性 アシドーシス（塩基が多い状態）
 - ・ BE < -2 →代謝性 アルカローシス（塩基が少ない状態）

- 【正】
- ・ BE > +2 →代謝性 アルカローシス（塩基が多い状態）
 - ・ BE < -2 →代謝性 アシドーシス（塩基が少ない状態）

◆p.74 第3部 12. 呼吸機能を表す記号、気体の状態の表現

一次（基本）記号の表

【誤】

Q	単位時間の血液量（血流量）
---	---------------

【正】

\dot{Q}	単位時間の血液量（血流量）
-----------	---------------

◆p.85 第3部 18. 静肺コンプライアンスと動肺コンプライアンス

【誤】

	コンプライアンスが低い	コンプライアンスが高い
肺の状態	硬くて膨らみづらい →少しの空気で圧が上がりやすい	軟らかくて膨らみづらい →内圧は上がりにくい
代表的な疾患	間質性肺炎、ARDS、肺水腫、無気肺など	COPD など

【正】

	コンプライアンスが低い	コンプライアンスが高い
肺の状態	硬くて膨らみづらい →膨らませるのに高い圧が必要	軟らかくて膨らみやすい →少しの圧で大きく膨らむ
代表的な疾患	間質性肺炎、ARDS、肺水腫、無気肺など	COPD など

◆p.106 第4部 要点振り返りチェック！

- 【誤】 ③加温加湿器における供給能力は、アメリカ標準規格（ANSI）：絶対湿度（ 30 ）mg/L 以上、国際標準化機構（ISO）：絶対湿度（ 33 ）mg/L 以上、米国呼吸療法学会（AARC）：絶対湿度（ 33～44 ）mg/L、Yピース部温度（ 34～41 ）℃、相対湿度（ 10 ）%と規定されている。

【正】②③加温加湿器における供給能力は、アメリカ標準規格（ANSI）：絶対湿度（ 30 ）mg/L 以上、国際標準化機構（ISO）：絶対湿度（ 33 ）mg/L 以上、米国呼吸療法学会（AARC）：絶対湿度（ 33～44 ）mg/L、Yピース部温度（ 34～41 ）℃、相対湿度（ 100 ）%と規定されている。

◆p.214 第8部 要点振り返りチェック！

【誤】⑥新生児が出生する前には立ち会うメンバーで、（ブリーフィング）を行う。出生前後に確認することは、（早産かどうか）、（強い呼吸・啼泣があるか）、（筋緊張低下の有無）の3点である。

【正】⑥新生児が出生する前には立ち会うメンバーで、（ブリーフィング）を行う。出生前後に確認することは、（早産かどうか）、（弱い呼吸・啼泣があるか）、（筋緊張低下の有無）の3点である。

◆p.218 第8部 要点振り返りチェック！

【誤】④6歳のカフ付き気管チューブのサイズは（ $4 + 6/4 + 0.5 = 6.0\text{mm}$ ）である。

【正】④6歳のカフ付き気管チューブのサイズは（ $4 + 6/4 - 0.5 = 5.0\text{mm}$ ）である。

以上